

「こつすればもつと良い大館になる」といった市政への提言を、手紙や電子メールで市長に送ることができず。それが「市長への手紙HOT函」と電子メールによる「市長への手紙e HOT函」です。

皆さんから寄せられた提言は、市長が目を通し、緊急性が高いものはすぐに対処し、また今後の施策への参考となるものは、関係部局で検討しています。

昨年度はHOT函39通、eHOT函72通の計111通でした。寄せられた内容は、生活道路の舗装を希望したい、公園の管理をしっかりと欲したいなどといった生活に密着したことから、記録的な大雪となった平成18年豪雪を反映した除雪への要望や苦情(10件)、また、中心商店街活性化のキーとなる旧正札竹村の活用(6件)、健康への被害が危惧されるアスベスト対策(2件)など多方面に渡っています。なお、111通のうち、回答できたものが43通であり、68通が無記名などのために回答できませんでした。

昨年度寄せられた提言と回答の要旨を紹介します。

民謡に親しむ機会を子供たちに

県央、県南地域では、学校単位で民謡の授業や部活動が行われているようです。民謡なら、経費もかからず子供たちも気軽にできるのではないかと思います。大館にも、指導者資格を持った人が何人かいますので、環境は整っていると思います。(20代・男性)

達人講座をご利用ください

現在、学校は週5日制となり、以前と比較して授業時間が減少していることから、定められた学業以外のことを子供たちに教えることは、現状ではかなり難しい状態です。音楽の授業では、民謡も含めて様々な分野の音楽を教えます。限られた時間の中で、歌ったり、踊ったり、鑑賞したりと、日本の伝統文化を大事にしていくという意識付けをしているところです。

あなたの声が届いています

市長への手紙 HOT函 e-HOT函



問 総務課
☎49-3111
(内線258)

市では、学業以外にいろいろなことを子供たちに伝えたいと考え、市内の芸術文化連盟や各種サークルなどに呼び掛け、放課後に児童センターなどで自分たちの知識や技を子供たちに伝授する「達人講座」を実施しています。講座は、日本舞踊や和太鼓、書道といった古来の日本文化を引き継ぐものから、ヒップホップや英会話など現代に即したもので27講座設けています。これらの講座を利用して民謡の普及や啓発を図ることも一つの手段だと考えますので、お気軽に担当の社会教育課へご相談ください。



樹海ドームでの親子体験 (5月7日)

大町商店街の活性化に自助努力も必要

大町地域活性化の話がありますが、大町商店街自体の営業努力が足りないのではないのでしょうか。従業員の接客教育、駐車場の無料化、営業時間の延長、買

物カードの導入などの努力をしてからなら話は分かりますが、「老舗商店街」だからとの考えだけで、私たちが税金を投入するのには抵抗があります。市営住宅も、介護サービスなどの面からも1カ所に集めたほうが、良いのではないのでしょうか。(40代・男性)

良い方策を検討しています

中心市街地の衰退と空洞化現象は、全国的な傾向であり、一朝一夕に解消できるものではありません。まさににぎわいを取り戻すには、地元商店街の努力は当然のことながら、行政サイドも協力・連携して取り組むことが求められています。というのも、中心市街地は、単に物の売り買いだけではなく、人々の生活や娯楽・交流の場となったり、文化や伝統を育むなど、まちの活力や個性を象徴する「顔」と言うべき場所であるからです。中心市街地の活性化とは、商業機能の回復だけではなく、まち全体の活性化をめざしたものであると考えています。

このため、市では、平成17年度に国の指定を受け、中心市街地を「歩いて暮らせるコンパクトシティ」として再生するため、市民の皆さんと一緒に調査、検討しています。また、地元大町商店街では、これまでもハチ公スタンプやハチ公駐車場、「いかナイト! 大町」など、各種振興策を実施し努力しています。市では、あらゆる可能性を吟味し、より良い方策を検討しているところですのでご理解をお願いします。

車高が高くてスカイパーキングを利用できない

軽自動車でも車高制限に引っかかり、スカイパーキングを利用できない。(40代・男性)

敷地内にも駐車できます

スカイパーキングは、建設当時の一般的な立体駐車場と同様の規格で建設されています。立体式に駐車できない車両は、敷地内に駐車できるよう運営しています